

【科目名】人間支援科学		【担当教員】小林 敏志 (メールアドレス)  (オフィスアワー) 授業開講日、非常勤控室にて対応
【授業区分】 教養分野 (自然科学)	【授業コード】 1-03-0105-0-2	
【開講時期】1・2 年次 後 期	【選択必修】選択	
【単位数】2 単位	【コマ数】15 コマ	
<b>【注意事項】</b> (受講者に関わる情報・履修条件) 高校で物理を履修しなかった人でも理解しやすいように講義を工夫するが、受身にならないで受講することを望む。 (受講のルールに関わる情報・予備知識) ルーズリーフではなく、専用のノート (表紙があるもの) を用意し、表紙に科目名 (人間支援科学) と自分の氏名を記入すること。		
<b>【講義概要】</b> (目的) 人間の感覚器や効果器の諸特性、高次な認知過程の特質などについて把握し、人間の特性に合ったより使いやすい機器の開発を目指すための知識を身につける。 (方法) 当講義では主に人間工学に基づく基礎知識を具体例を通して学ぶ。		
<b>【一般教育目標(GIO)】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>人間支援科学における工学的役割について概略が理解できるようになること。</li> <li>講義で取り上げた事項や用語の工学的概念が理解できるようになること。</li> </ul> <b>【行動目標(SBO)】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>講義内容をその場で理解し、ノートに整理してまとめることができるようになること。</li> </ul>		
<b>【教科書・リザーブドブック】</b> 教科書は用いず、プリント等により講義を行う。		
<b>【参考書】</b> 山口昌樹 他著「人間科学と福祉工学」コロナ社 2,300 円 (税別) 宮崎誠一著「はじめての人のための電気回路がよくわかる本」秀和システム 1,300 円 (税別)		
<b>【評価に関わる情報】</b> (評価の基準・方法) 成績評価は、本学学則規定の GPA 制度に従う。 毎回行う小テストと期末試験により評価する。		

## 平成 26-28 年度以降入学者用

【達成度評価】		試験	小テ スト	レポート	成 果 発表	実技	ポートフォ リオ	その他	合計
総合評価割合		60	40	0	0	0	0	0	100 点
評 価 指 標	取り込む力・知識	60	40	0	0	0	0	0	100
	思考・推論・創造の力	0	0	0	0	0	0	0	0
	コラボレーションとリーダーシップ	0	0	0	0	0	0	0	0
	発表力	0	0	0	0	0	0	0	0
	学修に取り組む姿勢	0	0	0	0	0	0	0	0
【授業日程と内容】									
回数	講義内容	授業の運営 方法			学修課題(予習・復習)		時間(分)		
1	人間支援科科学とは、どの様な学問か？	講義			復習；プリントを読んで 受講ノートを補完するこ と。		90		
2	本学の人間支援科学は、工学をベースとす ることを述べる。	同上			同上		90		
3	人間支援科学のキーワードを説明する。	同上			同上		90		
4	人間支援科学のための電気の知識を概論す る	同上			同上		90		
5	電気の性質の基本を述べる。	同上			同上		90		
6	人間支援機器に用いられる要素を概観する。	同上			同上		90		
7	電池とその使い方を説明する。	同上			同上		90		
8	基本要素である抵抗器、コンデンサ、および コイルの基本的性質を述べる。	同上			同上		90		
9	電磁石とモーターの基本を説明する。	同上			同上		90		
10	人間支援システムの心臓部として重要な半 導体の物理を述べる。	同上			同上		90		
11	半導体デバイスの基本構造を解説する。	同上			同上		90		
12	人間支援システムに使われる半導体デバイ スについての知識を述べる。	同上			同上		90		
13	人間の感覚器と半導体センサーを述べる。	同上			同上		90		

平成 26-28 年度以降入学者用

14	電波と光の性質、その人間支援システムへの応用を説明する。	同上	同上	90
15	まとめとしての、人間支援科学における工学を説明する。	同上	同上	90

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。